



10GBE リンクでの光スプリッタの使用

- 「サポートされる構成」(P.A-1)
- 「サポートされない構成」(P.A-2)

SCE8000 を使用した構成を設計する場合、光スプリッタおよび SPAN ポートの構成に影響を与える 10GBE リンクのいくつかの特性を考慮に入れることが重要です。

- Ten Gigabit Ethernet (10GBE; 10 ギガビットイーサネット) は、(通常の GBE と異なり) 自動ネゴシエーションをサポートしません。この 10GBE の固定設定は、次のとおりです。
 - デュプレックス = 全二重
 - 速度 = 10 GBE
- 10GBE ポートは RX 入力に光 (および正しい同期パターン) を検出するとアップになります。
- スイッチまたはルータ ポートは、ポートがアップ (RX 入力で適正な信号を検出) にならない限り、データを送信しません。

サポートされる構成

前述の 10GBE の特性から、次に示すような構成が 10GBE 環境でサポートされます。

図 A-1 サポートされる光スプリッタ構成

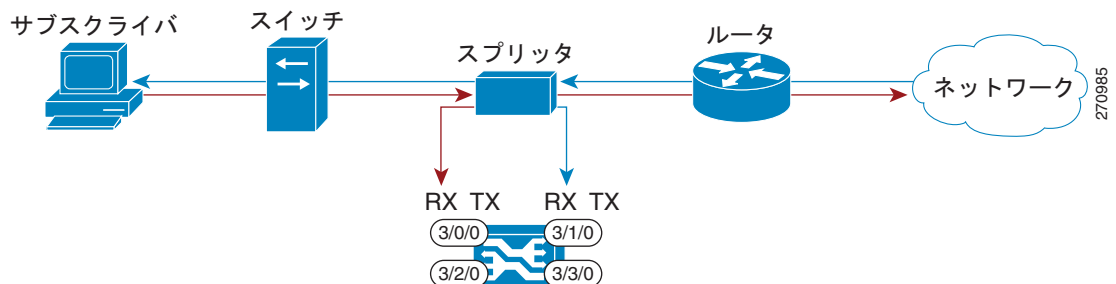
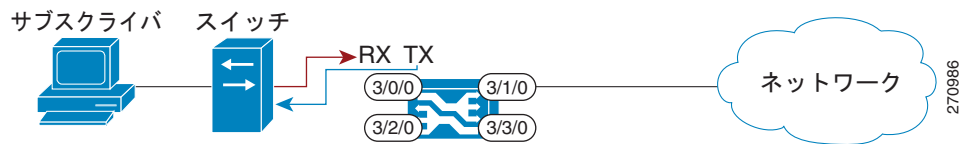


図 A-2 サポートされる SPAN ポート構成



(注)

上の構成では、SCE8000 が受信専用モードで動作させることが重要です。その他の構成では、SPAN ポート トラフィックがスイッチに戻され、予測できない動作をすることがあります。

サポートされない構成

前述の 10GBE の特性のため、次に示すような構成は 10GBE 環境でサポートされません。この構成では、スイッチ ポートがダウンのままとなり、送信が行われません。

図 A-3 サポートされない SPAN ポート構成

